

2021年度 第2四半期 決算概要

2021年11月11日
沖電気工業株式会社

2021年度 2Q累計 決算の概要

- 半導体他部材調達影響が拡大。
- 売上高はソリューションシステムが前年比減収。
- 営業利益は減収影響により前年比減益。
- 中国のプリンター工場を収束、構造改革費用として特別損失を計上。

(単位：億円)	21年度 実績	20年度 実績	前年比
売上高	1,598	1,735	△137
営業損益	△44	△26	△18
経常損益	△43	△32	△11
(親会社株主に帰属する) 四半期純損益	△67	△54	△13
USD平均レート (円)	109.8	106.9	+2.9
EUR平均レート (円)	130.9	121.3	+9.6

- 21年度上期は、構造改革の実行、成長に向けた土台作りを推し進めており、半導体をはじめとする部材調達影響も拡大した結果、残念ながら営業損益以下赤字。前年比でも減収減益の決算です。
- 一方、期初計画対比で見ると、セグメントごとに強弱はあるものの、サプライチェーン影響を除けば、おおむね計画ベースでの着地となっています。
- 売上高は137億円減少の1,598億円、営業利益は44億円の損失となりました。売上高、営業利益ともに、この上期については、ソリューションシステムの減収の影響が大きく出ています。
- 経常利益は、為替レートの改善もあり、43億円の損失にとどまりました。
- 四半期純損益は、中国プリンター工場での生産終了等による事業構造改善費用25億円を計上したことなどにより、67億円の損失となりました。
- 期中の平均為替レートは、USDドルは109.8円で、対前年2.9円の円安。ユーロは130.9円で、同じく9.6円の円安です。

2021年度 2Q累計 セグメント別売上高/営業利益

(単位：億円)

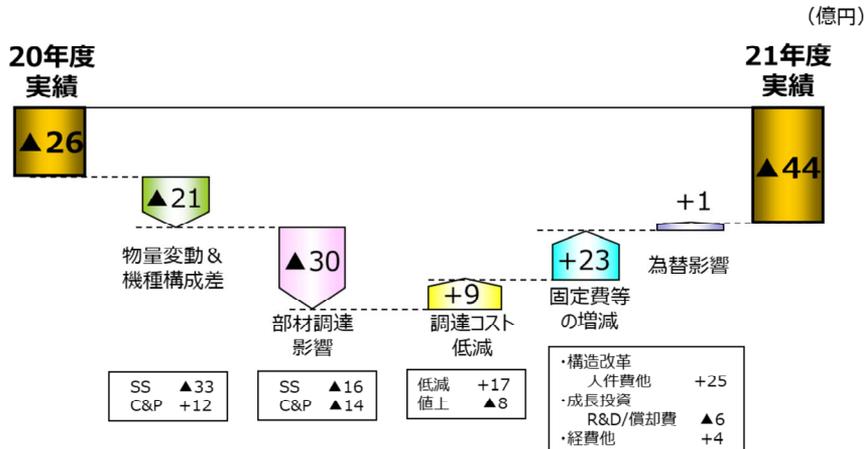
売上高	21年度 実績	20年度 実績	前年比
ソリューション システム	689	827	△138
コンポーネント& プラットフォーム	907	905	+2
その他	2	3	△1
合計	1,598	1,735	△137

営業利益	21年度 実績	20年度 実績	前年比
ソリューション システム	△2	40	△42
コンポーネント& プラットフォーム	△12	△37	+25
その他	1	△1	+2
消去・本社費	△31	△28	△3
合計	△44	△26	△18

- 売上高について。ソリューションシステムは、前年比138億円の減少となる689億円。前回の決算発表でお伝えした、前年度にあった大口案件の反動減に加え、部材調達影響も加わり、減収となりました。
- コンポーネント&プラットフォームは、前年比2億円の増加となる907億円となりました。ソリューションシステム同様、部材調達影響はあったものの、FA・半導体製造装置向けの事業や、欧米での消耗品需要もあり、増収を確保しております。
- 続いて営業利益。ソリューションシステムは、前年比42億円減少し、2億円の営業損失。コンポーネント&プラットフォームは、構造改革、特に情報機器事業の固定費削減効果等により、前年比では25億円改善し、12億円の営業損失となりました。

2021年度 2Q累計 営業利益の変動要因

- 部材調達難による生産・売上影響が拡大。
- コンポーネント&プラットフォームはFA・半導体製造装置向けおよびプリンター消耗品等増も、ソリューションシステムの前期大型案件減少により物量変動はマイナス。
- 調達コスト低減は進捗するものの、部材調達難に伴う値上げにより低減額が減少。
- 構造改革およびグループ共通費削減により固定費は改善。



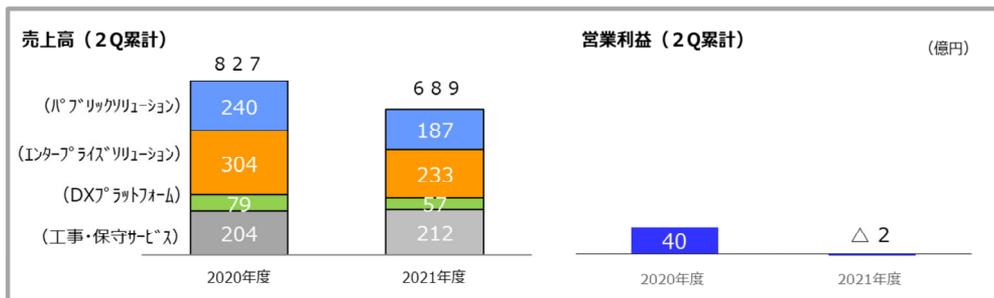
- まず、部材調達に伴う影響について。階段チャートの部材調達影響、下段にあるとおり、会社全体では約30億円の影響が出ております。
- その左側、物量変動、機種構成差。ソリューションシステムの物量減による33億円は、前期の通信キャリア向けネットワーク構築、ならびに官公庁向けシステムの反動によるものです。このマイナス分を、コンポーネント&プラットフォームのFA・半導体製造装置向け売上や、欧米のプリンター消耗品等の物量増で一部打ち返しております。
- 調達コストについては、約17億円の低減が実現できましたが、調達難に伴う部材の値上げ影響もあり、ネットでは9億円の低減にとどまりました。
- 固定費の増減について。主にコンポーネント&プラットフォームの海外を中心とした人員削減効果、および本中期経営計画の施策にあるグループ共通費用削減効果といった構造改革効果で約25億円。一方で、成長投資による費用増と、経費等のプラスマイナスで、合計では23億円の固定費減となりました。

ソリューションシステム事業 概況

- エンタープライズ、DXプラットフォームの部材調達影響に加えて、パブリック、エンタープライズにおける前期大型案件減少により減収減益。部材調達影響を除いて事業環境に大きな変化はなし。
- DX領域売上 2 Q 累計 139億円(パブリック 33,エンタープライズ 80,DX-PF 26)

■ TOPICS

- ・本庄地区で新工場建設着工(環境負荷低減に配慮したスマート工場の実現)
- ・航空機用計器事業の取得(特機事業のポートフォリオ拡充)
- ・新商品投入 AIによる映像監視システム「フライングビュー®」(DX領域の拡大)



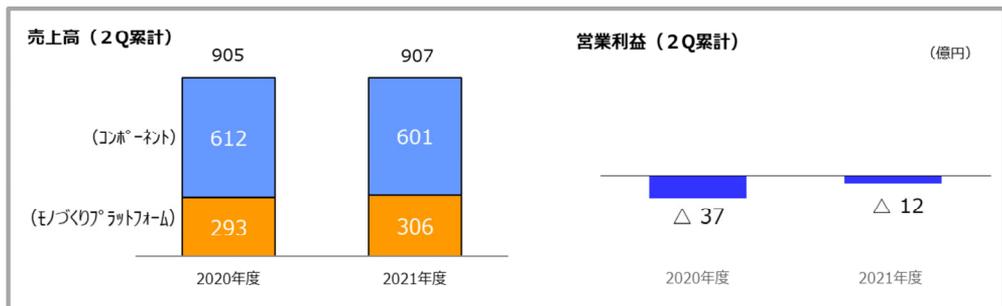
- ソリューションシステムの事業概況です。
- もともと当期は第4四半期偏重の計画であることに加え、先ほど来ご説明の部材調達影響により、上期決算ではマイナスの影響が強く表れておりますが、事業環境としては、部材調達影響を除けば大きな変化はございません。
- 成長戦略であるDX領域の進捗状況は、上期の売上高としては139億円となりました。また現時点で、当期の計画400億円に対する売上確度の高い案件の積み上げも約7割に達しております。
- 続きまして、当期のトピックスについてご紹介します。
- 一つ目は、本庄地区の新工場建設着工です。大規模生産施設としては、国内初のZEB認定を取得した工場となり、モノづくり基盤強化のフラグシップ工場として、来年4月の竣工、5月からの本格稼働を予定しております。
- 二つ目は、今後の成長に向けた土台作りのための投資の一つとして、航空機用計器事業をYOKOGAWAグループ様から取得いたします。22年度からの事業展開を行い、パブリックソリューション領域の事業拡大を図っていきます。
- 最後に、DX領域拡大に向けた新商品として、フライングビューの販売を開始いたしました。OKIの持つ映像、AI技術を生かした、AIエッジ戦略商品として売上拡大を目指してまいります。

コンポーネント&プラットフォーム事業 概況

- モノづくりプラットフォームはFA/半導体製造装置向け好調。
コンポーネントは欧米でのプリンター消耗品堅調、自動機海外市場は地域によりばらつきあるもののコロナ禍から徐々に回復の兆し。
一方で部材不足による生産影響が拡大。
- 情報機器事業の構造改革による固定費削減効果により利益は大きく改善。

■ TOPICS

- ・中国でのプリンター生産を終了、タイ工場へ集約。グローバル生産マップ再編に目途。



- コンポーネント&プラットフォームの事業概況です。
- モノづくりプラットフォーム事業は、FA/半導体製造装置市場向けが引き続き好調です。コンポーネント事業は、欧米でのプリンター消耗品売上が堅調に推移し、自動機の海外市場は、地域によってまだばらつきがあるものの、前年のコロナ禍の影響からは徐々に回復の兆しが出ております。
- 一方で、部材不足による生産遅延が影響し、コンポーネント&プラットフォーム全体の売上高としては、最終的には前年比微増にとどまっております。
- 営業利益面では、コンポーネント事業における情報機器事業の構造改革が着実に進捗しており、固定費削減効果により、利益は大きく改善しました。
- トピックスとしては、中国のプリンター工場の生産を終了し、タイ工場へと移管を行いました。グローバルでの生産マップ再編は計画どおりに進行しており、これで一つの区切りを迎えたこととなります。

2021年度 第2四半期 B/Sの概要

- 各資産・負債の構成に大きな変化無、総資産は圧縮。
- 自己資本比率は0.6ポイント減少。

(単位：億円)	21年 9月	21年 3月	前年度末比
流動資産	1,987	2,222	△235
固定資産	1,518	1,510	+8
資産の部	3,504	3,732	△228
流動負債	1,516	1,542	△26
固定負債	945	1,058	△113
負債の部	2,461	2,599	△138
自己資本	1,042	1,130	△88
その他	2	3	△1
純資産	1,044	1,133	△89
負債及び純資産合計	3,504	3,732	△228
自己資本比率(%)	29.7	30.3	△0.6
DELシオ(倍)	0.7	0.7	±0

- バランスシートです。
- 各資産・負債の構成に大きな変化はありません。季節性による変動によるものです。
- 総資産は、前期末から228億円減少の3,504億円。自己資本は、88億円減少の1,042億円。
- この結果、自己資本比率は29.7%、DELシオは0.7倍となりました。

2021年度 第2四半期 キャッシュフローの概要

- 営業キャッシュフローはサプライチェーン影響による運転資本増により前年比悪化。

(単位：億円)	21年度 実績	20年度 実績	前年比
I 営業キャッシュフロー	99	166	△67
II 投資キャッシュフロー	△75	△101	+26
フリー・キャッシュフロー(I + II)	24	65	△41
III 財務キャッシュフロー	△63	△67	+4
現金および現金同等物の残高	380	462	△82
固定資産取得額	72	201	△129
減価償却費	64	61	+3

- キャッシュフローです。
- フリー・キャッシュフローは、24億円のプラス。前年比では悪化していますが、サプライチェーン影響対策として部材の確保や、部材不足を起因とした出荷遅れによる棚卸増などが影響しています。
- なお、投資キャッシュフローの前年比が大きく出ておりますが、前年行いました芝浦、蕨地区の不動産取得と売却再編に伴うテクニカルな変動の影響です。
- 現金同等物は380億円と、十分な手元資金を保っております。

2021年度 通期業績予想

■ 期初計画から変更無し。

前提為替レート
USD : 105円
EUR : 120円

(単位：億円)	21年度 予想	20年度 実績	前年比
ソリューション 売上高	1,985	1,908	77
システム 営業利益	165	163	2
コンポーネント& プラットフォーム 売上高	2,010	2,015	△5
プラットフォーム 営業利益	25	△4	29
その他 売上高	5	6	△1
その他 営業利益	0	△1	+1
消去・本社費 営業利益	△70	△64	△6
連 結 合 計 売上高	4,000	3,929	71
連 結 合 計 営業利益	120	95	25
連 結 合 計 経常利益	120	94	26
連 結 合 計 当期純利益	35	△2	37

※2020年度実績はリスタート後

- 通期業績予想です。
- まず、部材調達の影響は下期も続くものとして、現時点で想定される影響を保守的に織り込んだ上で、今回の通期業績予想は変更なしとしております。
- ソリューションシステムは、現在も影響を受けているネットワーク端末、PBX等の製品を抱えるエンタープライズソリューションやDXプラットフォームといった事業は厳しい状況が続く見通しですが、一方で、工事・保守サービスは、変動原価の低減や業務合理化等により、計画比上振れで推移しており、下期もアップサイドが期待できるものと見ております。
- コンポーネント&プラットフォームについては、自動機事業を主として、部材調達影響が第3四半期にかけて本格化する見込みではありますが、モノづくりプラットフォームをはじめ、昨年からの市場回復もあり、全体として期初計画からの変更はございません。

2021年度 通期業績予想

- 部材調達影響は下期も続く見込み。
現時点で想定される影響を保守的に織り込み、今回通期業績予想は変更無し。
- 部材調達影響への対応
 - ・調達先拡大や操業等生産対策
 - ・コスト増に対する価格の適正化
 - ・費用等コスト対策

- 部材調達影響については、「いつから正常化する」という宣言ができるほど安定してはおりませんが、調達先の拡大や生産対策、コスト増に対する販売価格の適正化、その他費用等コスト対策といった対応の継続、強化によりその影響を抑制しつつ、引き続き全社一丸となって、中期経営計画達成に向けて注力してまいります。
- 以上、簡単ではございますが、第2四半期の決算説明とさせていただきます。
- ご清聴どうもありがとうございました。

(補足) セグメント別売上高/営業利益 (四半期別推移)

(単位：億円)

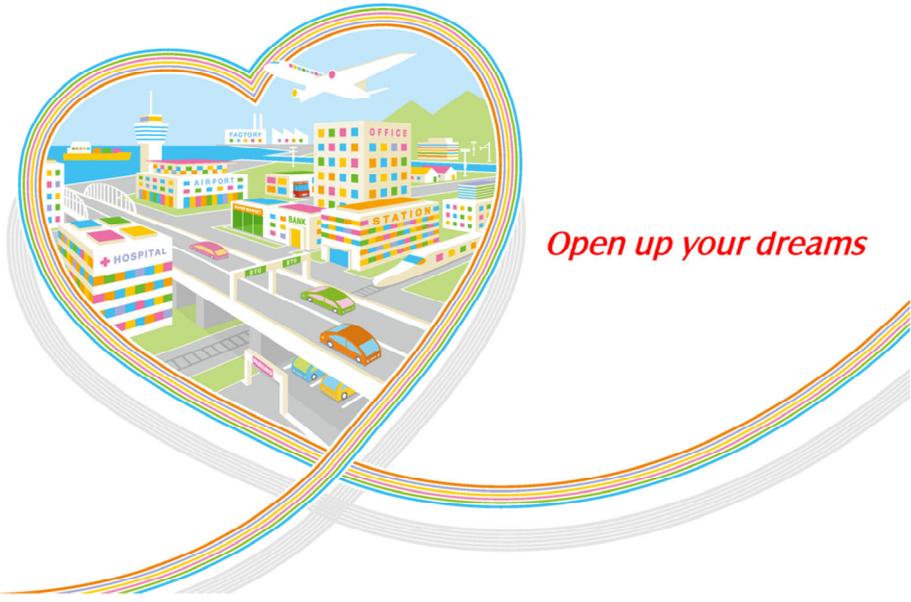
売上高	20年度					21年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q
ソリューションシステム	396	431	446	635	1,908	339	350
コンポーネント&プラットフォーム	416	489	486	624	2,015	459	448
その他	2	1	2	1	6	1	1
合計	814	921	934	1,260	3,929	799	799

営業利益	20年度					21年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q
ソリューションシステム	18	22	25	98	163	△1	△1
コンポーネント&プラットフォーム	△16	△21	△6	39	△4	△16	4
その他	0	△1	△1	1	△1	0	1
消去・本社費	△12	△16	△18	△18	△64	△13	△18
合計	△11	△15	0	121	95	△30	△14

ご注意

※本資料における業績予想および事業計画等は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断される一定の前提に基づいております。したがって実際の業績は様々な要因により、これらと異なる可能性があることをご承知おきください。

※億円単位の数値の表示方法について：
各項目の数値は、それぞれの数値の億円未満を四捨五入して表示しています。
また増減については、億円単位の数値を元に計算しています。



Open up your dreams